

#### 4/28 道徳授業参観、第7学年懇談会

授業参観の日、生徒たちは多くの保護者の方が来校されたことで、いつもよりやや緊張した様子が見られ、どのクラスも少し静かな雰囲気の中で授業がスタートしました。教科は道徳。テーマは「ありがとうについて」です。

導入では、「あなたは、〇〇の場面で『ありがとう』を言うか、言わないか」について、プリントをもとに話し合いました。例えば、「前の人からプリントを渡されたときに、『ありがとう』を言うか」といった場面です。自分では当たり前だと思っていたことが、人によって異なることに驚く生徒の姿も多く見られました。その後、教材を読み、「ありがとうの力」や「感謝することの意味」について考えを深めました。最後に、学校生活の様子が写った写真を見ながら、自分たちでは気付きにくい、目には見えない多くの支えがあることに目を向けました。そして、そうした支えに気付ける感性をもつことの大切さについて考え、授業を終えました。これからの生活の中で、身近な「ありがとう」に目を向けながら、温かな関わりを広げていってほしいと思います。



授業参観後には、学年懇談会を行いました。多くの保護者の皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。懇談会では、附属の学びのあり方や、学校での生活の様子についてお話しさせていただきました。今後も、保護者の皆さまと意思を共有しながら、子どもたち一人ひとりの成長を温かく見守っていければと考えております。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 7年生 学年懇談会 議事録

会議名	7年生 学年懇談会
開催日	2026年4月28日
対象	後期課程7年生(106名) 保護者向け
主催	福井大学教育学部附属義務教育学校 後期課程 7学年

### ◆ 学年方針:3つのキーワード

学年として大切にしたいのは「挑戦」「成長」「仲間」の3つ。仲間と挑戦を通じて成長する。成功体験だけでなく、うまくいかなかった体験も糧にする。

### ◆ 7年生の様子

- ・ 「集団で学ぶ楽しさ」「自分の意見が変わっていく実感」など、深い気づきが芽生えている
- ・ 一方で、グループで結論を出す難しさ、自己管理(時計を見る等)に戸惑いも
- ・ 9年生先輩の言葉に影響を受けつつ、前向きに乗り越えようとする姿勢が見られる

### ◆ 生活指導について

- ・ 校訓「自主協同」— 自分で考える力と協力する力を育てる
- ・ 生活指導は「安心・安全」に成長するための土台
- ・ 自主性と放任は違う。良いことは認め、疑問は躊躇なく問い直す

### ◆ 学習について

- ・ 「自分が選んだ道を正解に」
- ・ 学びのキーワードは「探究」— 物事の真の姿を探って見極めること
- ・ 階段型(プログラム学習)ではなく登山型(プロジェクト学習)を採用
- ・ 教員が山をデザインし、子どもの思いを大切にしながら学びの道筋を共に考える
- ・ 毎週金曜6限後20分「省察の時間」— 三者面談で活用

### ◆ 社会創生プロジェクト(社創)

- ・ 9年間を通じた附属の学びの柱(他校の総合的な学習に相当)
- ・ 予測不可能な社会・情報過多の時代を生き抜く力を育てる
- ・ 仲間と作り上げるプロセスにこそ学びと成長がある

## ◆ 5月宿泊学習

- ・ 日程:5月14日(水)～15日(木)、奥越青年の家
- ・ 目的:106人の絆を深め、学年目標を決定
- ・ 実行委員23名(各クラス選考)が3部門(総務/レク/学目)に分かれ準備中
- ・ 1日目:学年目標決め、レク、夕食(現地)、就寝
- ・ 2日目:朝食、学年目標決め、野外炊飯(昼食)、退所、16:00頃帰校

## ◆ 重要日程

日程	内容
4月22・23日	新入生テスト
4月30日	宿泊研修参加可否フォーム締切
5月14日(水)・15日(木)	宿泊学習(奥越青年の家)
毎週金曜6限後20分	省察の時間(省察ノート記入)
11月4・5日(予定)	確認テスト
2月2・3日(予定)	確認テスト

## ◆ 保護者の方へのお願い

- ・ 家庭で「今日も頑張ったね」と温かい声かけを
- ・ 家庭の安心が学校での挑戦のエネルギーになる
- ・ 宿泊学習のお弁当は使い捨て容器でご持参ください(現地で処分可能)